



いろいろおにごっこ

小沢 正／著

節分のお話ではよく怖い鬼が出てくるのですが、この絵本の鬼は、なんと「のんびりや」で「ユーモラス」。カラフルな野菜たちの色鬼ごっこ遊びと青鬼・赤鬼との交流に、心がぽかぽかするお話になっています。



孤城 春たり

澤田 瞳子／著

備中松山藩の陽明学者・山田方谷は借財10万両を抱える藩の元締役とその補佐役である吟味役の兼務を命じられる。わずか7年で借財を返済、さらに10万両の蓄財を作るまでになったが幕末の激動の波が押し寄せて…。



超悦サラダ

上島 亜紀／著

その日食べたい野菜に作っておいした魔法の「味だれ」をかけるだけ、あえるだけで、野菜がおいすぎるサラダの出来上がり！これまでの「サラダ」を超えたサラダレシピをお楽しみください。

今月のオススメ

本

を紹介します。

Books



中央公民館の図書室からオススメの本をご紹介します。

問 中央公民館図書室 (Tel 565-2434 内線 2121)

Police

川俣分庁舎だより



サイバー犯罪に気をつけましょう

【2/1～3/18 はサイバーセキュリティ月間】

インターネットの普及により、サイバー犯罪は身近に迫っています。

「安易なクリック」は絶対にしないようにしましょう。

また、パソコンやスマートフォンなどのインターネット端末には最新のセキュリティソフトやフィルタリングを使用しましょう。

★福島警察署川俣分庁舎 Tel 566-3121 ★

町民文芸

川俣町文学サークル

春に会う

高澤 百合子

節分の豆を自分の歳の数だけ食べることで、その年の間、病気になるらずに健康でいられると言う。だが、お互い歳を重ね七十粒は…と夫は苦笑のタペ。気を取り戻して明日は立春、お雛様を飾ろう。

この里を終の棲家に雛飾る

川俣の里に越して初めてお雛様を飾った時の一句。あれから六回目の雛飾りとなり、お内裏様とお雛様はいつもの場所に並び、ほんのりと笑顔。そしてお雛様にと和菓子屋の暖簾をくぐれば、シウケースの中は、寒い戸外とは別世界の花畑だった。

和菓子屋ののれんくぐりて春に会う

ダニエル先生の

DAYBOOK

ウキウキ
ダイブック

Vol.19

私は今、冬休みに入る少し前にこのダイアリーを書いています。この冬休みを利用して、川俣に来てから初めてイギリスに帰国しますが、5匹の猫とのんびりしたり、家族とボードゲームをしたり、ホットチョコレートを飲んだりするのが今からとても楽しみです。

帰国する準備として、家族へのクリスマスプレゼントを買いに行きました。私の母は日本のある有名なアニメ映画が大好きなので、それに関連したプレゼントを買いに行ったのですが、半分以上は自分へのプレゼントになってしまいました。その他、母と妹に猫をテーマにしたグッズを、フクロウが好きな祖母にはフクロウをテーマにしたグッズを買いました。祖父はヨットが好きなのですが、さ



すがに本物のヨットは買えないので、ヨットの飾りがついたペンを買いました。

みなさんは家族へのプレゼント選びに悩みますか？私は父へのプレゼント選びにいつも悩んでいます。父はなんでも同じように喜んでくれるのですが、父にたくさん喜んでほしいのでとても悩みます。父はナッツが好きなので、高級ナッツか「食べ比べ」ナッツをプレゼントしようかと思うのですが、もう少し悩もうかと思います。自分へのプレゼント選びは簡単なのに！たとえば家族のためにプレゼントを何も持っていなくても、家族は私の帰国を喜んでくれると思います。でも、やっぱり家族の喜ぶ顔をたくさん見たいので、たくさんのプレゼントを持っていこうかと思っています。



★ダイアリーはダニエル先生が日本語で書きました

川俣歴史探訪記

vol.14

前田遺跡3次調査

昨

年11月から12月にかけて、前田遺跡の国史跡指定を目指す3次調査が行われました。今回はこの調査成果を速報します。

3次調査は高根川の南側と北東側を対象にしました。特に、南側では昨年の2次調査で発見した縄文時代の家の跡の時期や規模など、その内容を把握することを主眼としました。

調査の結果

調

査の結果、写真にありますように、住居の床に石を敷いた家の跡と、地面を掘り下げて床をつくった家の跡の2軒が隣接していたことがわかりました。



地面を掘って床にした家

そ

発見された縄文土器

して、それぞれの家からは、当時の人々が使用していた縄文土器もたくさん見つかりました。これらの土器の特徴から、石敷きの家は縄文時代中期の終わりごろ（今から約4,500年前）の家で、地面を掘り下げた家は同じ縄文時代でも後期ごろ（今から3,500年ほど前）の家でした。



地面を掘り下げた家から出た土器



石敷きの家から出た土器

調査結果から分かったこと

こ

これらの時期は県が調査した範囲から見つかっていますので、今回の調査で前田遺跡の縄文人たちは、確実に高根川の南側でも生活していたことが判明いたしました。今後、できるだけ早く今までの成果をみなさまにお見せできるようにしていきますので、今後とも前田遺跡の国史跡を目指す活動へのご理解とご協力を賜りたいと思います。

地域おこし協力隊活動日誌

vol.17

【最近の活動報告】

最近、知り合いやリピーターの方、イベントなどに出品した際に注文のあった分の桶や箒の製作を行いつつ、イベント出店用にも製作をしています。また、11月中旬からは竹の伐採時期で、1年間に作る木桶分の竹材を準備しなければならぬのでほぼ毎日、朝から夕方まで竹林で竹の伐採と削りの作業をしています。



木桶・箒職人
かな
小山 加奈 さん

【「ぬん」として活動を開始】

去年4月からは「ものづくり活動家 おやまかな」として、木桶と箒づくりを通して、ものと人、人と人をつないでいく「ぬん」という屋号で活動しています。



「ぬん」ロゴ

「ぬん」の活動のひとつとして、県内外のイベントに参加したくさんの人に会って直接お話しすることができ、木桶と箒を通して「もの・こと・ひと」が繋がっていくのを実感することができました。

【今後の活動の目標】

今年は3年間の地域おこし協力隊の活動の集大成として川俣町内で木桶を使った味噌仕込みと小さい手箒づくり、ふたつのワークショップの開催を企画してます。みなさま！お楽しみに！



「ぬん」Instagram

